

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書
(平成30年度)

園名 (清心緑が丘認定こども園)

	評価基準	評価内容
I	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	○整えられた環境の中で、落ち着いた保育が行われている。穏やかな気持で子どもたちが活動できるよう、しっかりと子どもの育ちが考えられている。
II	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	○自由な遊びや基本的な生活習慣の習得がなされており、子どもたち同士の関わりの中で社会性が育っている。異年齢の子どもたち同士の関わりについては発展途上であるものの、少しずつお互いの活動を見合ったり、関わり合ったりするような環境が整えられつつある。
III	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	○自信をもって生活や活動が行われている。すべきことをしっかりとしていくことで、自尊感情が育まれている。お互いを思いやる気持ちも、保育の中で培われている。
IV	小学校との連携	○園長が、隣接する小学校の地域共生委員になり、地域共生委員会に参加し、「年間交流計画」の情報提供を受け交流の機会を持っている。交流会を通して小学校との連携を図る機会が増えている。隣接の小学校から来訪を受け、情報交換や提供をしている。小学校の行事で昔遊び体験、お話し会、5年生と5才児の交流遊び等、交流の機会として参加している。
V	教育・保育の内容の保護者への説明	○理念と基本方針を記載した「教育・保育のご案内」及び重要事項説明書を入園説明会や個別面談時に配布し、説明している。行事時には園長が理念・基本方針を盛り込み

		ながら挨拶を行っている。毎月の園だより、クラスだより、献立表（食育の取組）を提供している。
VI	保育教諭の資質向上のための取組	○外部研修と伝達研修、園内研修、外部講師を招聘しての研修等さまざまな手法により研修を実施している。定期的に職員会議（支援会議）等の各種会議を開催し、経験を積んだ職員からの助言等を得ている。保育上の悩み等の相談に応じ、適切な助言を提供している。月担当制を採り入れ、各種業務を輪番で担当して、業務体験を蓄積できる仕組みがある。
VII	安全管理	○災害マニュアルや危機管理マニュアルを整備し、地震・火災時避難訓練、不審者対応訓練を計画に沿って実施している。衛生管理マニュアルを整備し、トイレやおもちゃの衛生管理等を実施している。嘔吐物処理や下痢発生時対応フローチャートを作成し、発生時の対応に活用している。また、安全点検表で手洗い場、トイレ等をチェックしている。アレルギー疾患に対しては、指示書等に基づいて、適切に対応している。
VIII	地域の子育て拠点としての取組	○園庭開放や子育て相談等を通じて、地域との交流や子育て支援に取り組んでいる。近隣小学校との交流を通じての連携、高校のクラブ活動への協力、大学祭への園児作品の展示等で連携を図っている。園長が、自治会や地域共生委員会等に参加し、交流の機会を持っている。
IX	地域において子育て支援を行う団体との連携	○こども家庭センター・西神戸医療センター等とケース会議で連携を図っている。